

「小本」を 未来へつなぐ

文化財保存整理ワークショップ



喜多方市には、「会津型」と呼ばれる、
着物の柄を染めるための型紙が、
文化財として受け継がれています。

今回みなさんと整理するのは、「小本」という型紙。
着物の柄の「もと」になる、小さな型紙です。これを
繰り返しつなぐことで、大きな柄が生まれます。

こうした資料を未来へ残し、活用していくためには、
一つひとつを整理し、記録することが欠かせません。

地域の歴史って、どうやって未来に残していくんだろう。

今回の事業では、
型紙の研究者や伊勢型紙彫師のお話を聞きながら、
本物の型紙を実際に整理します。

歴史を「見る」だけでなく、自分たちの手で未来につなぎます。



喜多方の染型紙（福島県指定重要有形民俗文化財「会津の染型紙と関係資料」）18420

第1回



確認し、整える

講話と型彫り体験を通
じて、型紙の基礎を学
び、破損がないか確認
しました。

講師 木幡江里子
(喜多方市教育委員会文化課副主任学芸員)
会場 喜多方市立図書館2階第2閲覧室

6月14日(日) 10:00-12:00

第2回



記録する

型紙保存の考え方を学び、模
様や特徴を手がかりに資料を
分類します。

生田さんのレクチャー(14:00-15:00)
はどなたでもご参加いただけます。

講師 生田 ゆきさん(文化庁主任文化財調査官)
会場 喜多方市役所 市民ロビー

8月11日(火・祝) 14:00-16:00

第3回



分類する

職人さんから「小本」の役割
や使い方を学び、資料一つひ
とつに記録番号を付与して、
データ化に向けた準備を行いま
す。

講師 那須 恵子さん(型屋2110伊勢型紙彫師)
会場 喜多方市役所 第1会議室

8月25日(火) 14:00-16:30

※各回とも、講師によるレクチャー+実践ワークショップの二部構成です。

参加方法 電話または窓口にてお申し込みください。
対象 喜多方の文化財に興味のある高校生以上の学生

お問い合わせ 喜多方市教育委員会文化課(担当:木幡)
〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東7244番地2
TEL 0241-24-5323 Mail bunka@city.kitakata.fukushima.jp

